



2008年ノーベル物理学賞受賞者

ますかわ としひで

益川 敏英 先生 講演会

「現代社会と科学」

日時:2010年12月20日(月) 10:30~12:00

場所: 徽音堂



附属小学校5・6年生、附属中学校全校生徒、
附属高等学校 1・2年生 向け

*講演会の後半に、みなさんから益川先生に
質問のできる時間があります。

ますかわとしひで

益川敏英先生は、この世でいちばん小さな物質である

そりゅうし

「素粒子」の研究をされています。

そりゅうし

「素粒子」の世界を「6種類のクォークの存在」で説明され、

2008年にノーベル物理学賞を受賞されました。

先生のご研究により、「なぜ宇宙ができたのか」

「どうして星が生まれ、地球ができ、人間・動物が生まれたのか」

という、多くのナゾを解くことができると考えられています。

だからこそ、先生のご研究は、世界中から注目されているのです。